

演劇・映画の専門図書館

SHOCHIKU OTANI LIBRARY

公益
財団法人

松竹大谷図書館ニューズレター

■ No. 250(2019年1月) ■

平成31年1月10日発行

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

旧年中は当館の活動にひとかたならぬご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、当館にとって開館60周年を迎える記念すべき年でしたが、日本各地では様々な災害が起きました。今もなお不自由な日々を送られている被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、当館では昨秋も7度目のクラウドファンディングを実行致しました。第7弾では、図書館の平成30年度運営費及び、120年前につくられた「川上音二郎・貞奴一座欧米公演関係資料（通称【音貞アルバム】）」の補修・デジタルアーカイブ化のための資金を募集しました。9月4日の台風21号の日本列島上陸と共に開始したプロジェクトはなかなかご支援が進まず、大変厳しい状況ではありましたが、50日間の募集期間で215名の支援者の皆様から、例年にも増して温かい励ましと共に270万8千円のご支援を頂き、プロジェクトが無事成立致しました。現在、川上音二郎・貞奴一座の欧米公演に関する大変貴重な資料が貼り込まれている【音貞アルバム】は（有）紙資料修復工房で修復を進めており、本年中頃にはデジタル撮影、そしてアーカイブ化を進める予定です。

また昨年は、クラウドファンディング第5弾のご支援でデジタル化を行った「組上燈籠絵」のうち15作品を、藤沢市藤澤浮世絵館で原本と組上完成形を展示して頂き、企画展を行う事が出来ました。

皆様のご協力とご支援を支えとして、ますます充実した演劇と映画の専門図書館を目指し、これからも資料の保存・活用にスタッフ一同努力してまいります。本年も当館の活動にご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

松竹大谷図書館 職員一同

≫≫ お知らせ

第47回平成30年度「大谷竹次郎賞」は選考の結果、
該当作品なしと決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

<「大谷竹次郎賞」とは>

本賞は、毎年1月より12月までの公演で、松竹系のみならず、歌舞伎俳優によって上演された新作の歌舞伎及び歌舞伎舞踊の脚本を対象とし、娯楽性に富んだ優れた歌舞伎脚本に贈る賞です。昭和47年2月14日から始まり、今年で47回目を迎えました。毎年、大谷竹次郎（松竹株式会社創業者のひとり）の誕生日、12月13日にあわせて発表しており、該当作がない場合、佳作や奨励賞（新人対象）を贈る場合もあります。当館からは副賞として受賞者に松竹大谷図書館賞の記念レリーフ（荒川明照氏作）を贈呈しています。

この10年の受賞作は、今井豊茂氏『新作 陰陽師 滝夜叉姫』（第42回平成25年度）、川崎哲男氏・松岡亮氏『壽三升景清』（第43回平成26年度）、今井豊茂氏『あらしのよるに』・横内謙介氏『スーパー歌舞伎II ワンピース』（第44回平成27年度）です。これらの受賞作の台本は当館に保存されており、一般公開しておりますので、どなたでもご覧いただくことが出来ます。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 12月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『幸助餅』	○			
	『於染久松色読販 お染の七役』	○			
	『壇浦兜軍記 阿古屋』	○		○	○
	『あんまと泥棒』	○			
	『二人藤娘』				
	『傾城雪吉原』				
新橋演舞場	『喜劇 有頂天団地』	○		○	○
	第二回春風亭小朝独演会			○	
	舟木一夫シアターコンサート			○	
南座	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○			
	『鳥辺山心中』	○			
	『ちいさんばあさん』	○			
	『恋飛脚大和往来 新口村』	○			
	『義経千本桜 木の実・小金吾討死・すし屋』	○		○	○
	『面かぶり』				
	『弁天娘女男白浪』	○			
『三社祭』					
松竹座 (大阪)	『関西ジャニーズJr. X'mas Party!! 2018』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

IHI ステージアROUND東京	11月	新感線☆RS 『メタルマクベス』	プログラム
浅草公会堂	11月	前進座 『ちひろ 私、絵と結婚するの』	プログラム
あうるすぽっと	11月	劇団昴 『評決』	プログラム
アトリエファンファーレ高円寺	12月	『喜劇 新オセロ』	プログラム
神奈川芸術劇場大スタジオ	12月	『オイディプスREXXX』	プログラム
国立劇場大劇場	12月	歌舞伎公演 『増補双級巴』	プログラム
国立劇場小劇場	11月	特別企画公演 『「陵王」を巡る』	プログラム
		舞踊公演 『舞の会 京阪の座敷舞』	プログラム
こまばアゴラ劇場	12月	こふく劇場 『ただいま』	プログラム
ザ・スズナリ	12月	城山羊の会 『埋める女』	プログラム
シアタークリエ	11月	『ピアフ』	プログラム
シアターコクーン	11月	『民衆の敵』	プログラム
シアタートラム	11月	らまのだ 『青いプロペラ』	プログラム
新国立劇場小劇場	11月	『誰もいない国』	プログラム
	12月	『スカイライト』	プログラム
DDD 青山クロスシアター	11月	『カクタス・フラワー』	プログラム、台本
東京芸術劇場シアターイースト	12月	ONE OR 8 『ゼブラ』	プログラム
俳優座劇場	11月	劇団俳優座 『われらの星の時間』	プログラム、台本
本多劇場	11月	M&O p l a y s 『ロミオとジュリエット』	プログラム、台本
三鷹市芸術文化センター星のホール	11月	i a k u 『逢いにいくの、雨だけど』	プログラム
三越劇場 (日本橋)	12月	劇団民藝 『グレイクリスマス』	プログラム、台本
六本木スーパー・デラックス	12月	カタルシツ 『CO. J P』	プログラム

(新着資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

『Confetti』2019年 JANUARY
 『KENSYO』Vol. 111
 『TICKETS GO!GO!』Vol. 86
 『omoshii mag オモシイ・マガ』
 Vol. 14
 『あぜくら』2018年12月号
 『げき』20号
 『つどい』49号
 『ふり おどりの空間』No. 32
 『ほうおう』2019年2月号
 『テアトロ』2018年12月号, 俳優・タレント養成
 ガイド2019年度版, 2019年1月号
 『ラ・アルプ』2019年1月号
 『演劇界』2019年2月号

『華風』2019年1月号
 『喝采』2019年4月
 『御園座演劇図書館Newsletter』
 Vol. 9-musical, Vol. 9-comedy
 『国立演芸場公演ガイド』平成31年1月号
 『大向う』平成31年1月号
 『伝統文化新聞』151号
 『日本演劇興行協会会報』55号
 『日本照明家協会誌』2018年12月号
 『日本舞踊』71巻1月号
 『悲劇喜劇』2019年1月号
 『邦楽の友』平成31年1月号
 『名古屋芸能文化』28号

■ 映画雑誌 ■

『FLIX』2019年2月号
 『NFAJプログラム』No. 10
 『SCREEN』2019年1月号, 2月号
 『おとなのデジタルTVナビ』2019年2月号
 『エキブ・ド・シネマ』No. 224
 『キネマ旬報』2019年1月上旬特別号, 1月下旬新
 春特別号
 『シナリオ』2019年2月号
 『シナリオ教室』2019年1月号

『ピクトアップ』2019年2月号
 『ムービー・スター』2019年2月号
 『映画テレビ技術』2019年1月号
 『映画時報』2018年12月号
 『映画秘宝』2019年1月号, 2月号
 『衛星劇場プログラムガイド』2019年1月号
 『黒澤明研究会誌』40号
 『日経エンタテインメント!』2019年1月号

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』	○	○	○		○
『ラライ!ザンザイン!! The School Idol Movie Over the Rainbow』	○				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

『メアリーの総て』 『アリー スター誕生』 『春待つ僕ら』
 『アイ・フィール・プリティ! 人生最高のハプニング』 『ギャングース』
 『エリック・クラプトン 12小節の人生』 『アウト&アウト』
 『ボヘミアン・ラプソディ』 『グリーンチ』 『GODZILLA 星を喰う者』
 『パッドマン 5億人の女性を救った男』 『おとなの恋は、まわり道』
 『search サーチ』 『オズランド 笑顔の魔法おしえます。』
 『ジョニー・イングリッシュ アナログの逆襲』 『アンクル・ドリュー』
 『ういらぶ。』 『華氏119』 『スマホを落としただけなのに』
 『映画 妖怪ウォッチ FOREVER FRIENDS』 『来る』
 『マダムのおかしな晩餐会』 『くるみ割り人形と秘密の王国』 『ヴェノム』
 『私は、マリア・カラス』 『ニセコイ』 『シュガー・ラッシュ:オンライン』

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書 籍 ■

『常磐津節演奏者名鑑 第7巻 近代5：明治期から昭和まで（下）』	常磐津節保存会
『表現者の肖像 海田悠写真展』	海田悠（写真） マルチグラフィックス
『文化と文化をつなぐ シェイクスピアから現代アジア演劇まで』	浜名恵美（著） 筑波大学出版会（発行）、丸善出版（発売）
『演劇年鑑 2018』	日本演劇協会（編） 日本演劇協会
『THEATRE YEAR - BOOK 2018』	国際演劇協会日本センター
『日本芸術文化振興会年報 平成28（2016）年度』	日本芸術文化振興会
『にほん全国芝居小屋巡り』	沢美也子（著）、田中まこと（写真） 阪急コミュニケーションズ
『ウエストエンド・ブロードウェイ劇場視察 研修報告書 平成29年度』	日本演劇興行協会
『中日劇場全記録1966-2018』	中日新聞社+中日劇場
『戦世と沖縄芝居 夢に見る沖縄 元姿やししが』	沖縄県平和記念資料館（編） 沖縄県平和記念資料館
『17日本の人形劇（日本人形劇年鑑2017年版）』	日本ウニマ（国際人形劇連盟日本センター）（編） 日本ウニマ
『<戯曲集>紛争地域から生まれた演劇9』	国際演劇協会日本センター
『OMS戯曲賞vol. 24』	大阪ガスビジネスクリエイティブ内OMS戯曲賞事務局
『歌舞伎の男たち、女たち 芝居をみる楽しみ』	丹羽敬忠（著） 洋々社
『恋するKABUKI とってもおしゃやれな歌舞伎ワンダーランド』	辻和子（著） 実業之日本社
『歌舞伎お作法』	びあ
『歌舞伎にすと入門 知る観るKABUKI100のツボ』	辻和子（著） 東京新聞出版部
『高麗屋三兄弟と映画』	谷川建司（著） 雄山閣
『九代目團十郎』	渡辺保（著） 演劇出版社（発行）、小学館（発売）
『粹にいなせに三津五郎』	坂東三津五郎（著） びあ

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2018年10月～11月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、おもだか会、劇団民藝、東京都江戸東京博物館、御園座、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、文学座、国立劇場、株式会社日本舞踊社、日本映画テレビ技術協会、関西・歌舞伎を愛する会、シナリオ・センター、劇団四季、関西常磐津協会、福生市郷土資料室、有限会社合同通信社、無声映画鑑賞会、日本映画テレビプロデューサー協会、明治座、株式会社セクターエイティエイト KENSYO 編集部、調布市武者小路実篤記念館、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、一般社団法人日本民間放送連盟、キネマ旬報社、演劇出版社、デアゴスティーニ・ジャパン、こまつ座、博多座、博物館明治村、一般社団法人日本映画製作者連盟、世田谷文学館、宮田武夫、伊藤俊介、若林さだ吉、山口博哉、帝国劇場、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、人形劇団プーク、オペラシアターこんにゃく座、俳優座劇場、株式会社アサツ・ディー・ケイ、日本劇団協議会、(株)CLIE、シアタークリエ、一般社団法人 日本劇場技術者連盟、加藤健一事務所、株式会社カモミール社テアトロ編集部、伝統文化新聞、御園座演劇図書館、国立映画アーカイブ、劇団青年座、(株)キューブ、テアトル・エコー、ロングランプランニング株式会社、(株)近代映画社、公益社団法人日本照明家協会、東宝株式会社、仲倉重郎、産経新聞出版、銀座百店会、国文学研究資料館、銀座 博品館劇場、邦楽の友社、岩波ホール、前進座、青木幸子、小島優子、流山児★事務所、公益財団法人ユニジャパン東京国際映画祭事務局、劇団俳優座、日本近代文学館、新歌舞伎座、長池耕平、アーティストジャパン、映画論叢、日本映画撮影監督協会、早乙女富美江

どうもありがとうございました

第74回展示「釣りバカ日誌」展

展示期間:2019年1月11日~3月1日
於 閲覧室

昭和63年12月24日は、映画『釣りバカ日誌』が公開された日です。『男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日』と同時上映されたこの作品は、やまさき十三と北見けんいちの同名人気漫画の映画化で、西田敏行演じる、釣り好きで万年ヒラ社員のハマちゃんが、自分の勤める会社の社長と知らずに、三國連太郎演じる鈴木建設の社長スーさんと釣り友達となったことから物語が始まります。平成元年のお正月映画としてヒットし、シリーズ化が決定。以来、豪華なゲスト出演者とともに、ハマちゃんとスーさんが、日本各地を舞台に様々な騒動を繰り広げていく『釣りバカ日誌』は、昭和期に人気のあった『男はつらいよ』シリーズのように、平成の世相をスクリーンに映し出しながら、松竹の人気シリーズとして親しまれてきました。また、全22作で山田洋次監督が脚本に携わっているほか、栗山富夫、森崎東、本木克英、朝原雄三と、松竹大船の作風を受け継いだ監督たちが、『釣りバカ日誌』の世界を描いてきました。

映画は平成21年に、惜しまれつつもファイナルを迎えましたが、平成28年から平成30年にかけてBSテレビ東京でシリーズ全作が放送されるなど、現在でも根強い人気を保っています。

平成27年の10月23日から12月11日には、連続テレビドラマ『釣りバカ日誌 新入社員 浜崎伝助』がテレビ東京で放送されました。時代設定を平成27年に変え、ハマちゃんの新人時代を描いたオリジナルストーリーで、濱田岳がハマちゃんを演じ、そして映画ではハマちゃんだった西田敏行がスーさん役を演じています。平成29年1月2日には単発スペシャルドラマ、平成29年4月21日より6月16日には連続ドラマのSeason2が、そして本年1月4日にも新春ドラマスペシャル『釣りバカ日誌 新米社員 浜崎伝助 瀬戸内海で大漁！ 結婚式大パニック編』が放送され、新しいコンビによる『釣りバカ日誌』も、人気シリーズとして定着しています。

今回の展示では、映画の『釣りバカ日誌』シリーズ全22作の資料を展示いたします。

映画『釣りバカ日誌』シリーズ【全22作(昭和63[1988]年-平成21[2009]年)】

原作:やまさき十三・北見けんいち/製作・配給:松竹

主な出演:西田敏行(浜崎伝助),三國連太郎(鈴木一之助),石田えり(第1-7作:浜崎みち子),浅田美代子(第8-11作,第13-22作:浜崎みち子)

【各シリーズ一覧】

第1作『釣りバカ日誌』スチール写真・台本/昭和63[1988]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・桃井章/ゲスト出演:江戸家猫八,名古屋章,鈴木ヒロミツ/ロケ地:香川県高松市/魚:クロダイ

第2作『釣りバカ日誌2』スチール写真・台本/平成元[1989]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・堀本卓/ゲスト出演:原田美枝子,内藤武敏,久米明/ロケ地:愛知県渥美半島/魚:アジ・メジナ

第3作『釣りバカ日誌3』スチール写真・台本/平成2[1990]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・堀本卓/ゲスト出演:五月みどり,花澤徳衛/ロケ地:静岡県西伊豆/魚:ヒラメ

第4作『釣りバカ日誌4』スチール写真・台本/平成3[1991]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・関根俊夫・堀本卓/ゲスト出演:佐野量子,尾美としのり/ロケ地:和歌山県由良町/魚:チヌ・マダイ

第5作『釣りバカ日誌5』スチール写真・台本/平成4[1992]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・高橋正圀・関根俊夫/ゲスト出演:乙羽信子,神戸浩/ロケ地:京都府丹後半島/魚:イナダ・サンネンゴ

第6作『釣りバカ日誌6』スチール写真・台本/平成5[1993]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・関根俊夫・梶浦政男/ゲスト出演:久野綾希子,喜多嶋舞,豊川悦司/ロケ地:岩手県釜石市/魚:カワハギ・アイナメ・イワナ

第7作『釣りバカ日誌スペシャル』スチール写真・台本/平成6[1994]年/監督:森崎東,脚本:山田洋次・関根俊夫/ゲスト出演:富田靖子,田中邦衛,清川虹子/ロケ地:島根県/魚:アユ・マダイ

第8作『釣りバカ日誌7』スチール写真・台本/平成6[1994]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・高橋正圀・関根俊夫/ゲスト出演:名取裕子,寺尾聰,山岡久乃/ロケ地:福井県/魚:クロダイ(チヌ)

第9作『釣りバカ日誌8』スチール写真・台本/平成8[1996]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・関根俊夫・荒井雅樹/ゲスト出演:室井滋,柄本明/ロケ地:福島県いわき市/魚:ヒラメ・ヤマメ・タナゴ

第 10 作『釣りバカ日誌9』スチール写真・台本/平成 9[1997]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:風吹ジュン,小林稔侍/ロケ地:鹿児島県川内市/魚:キス

第 11 作『釣りバカ日誌10』スチール写真・台本/平成 10[1998]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:宝生舞,金子賢,夏八木勲/ロケ地:福岡県北九州市/魚:アジ・サワラ・スズキ

第 12 作『花のお江戸の釣りバカ日誌』スチール写真・台本/平成 10[1998]年/監督:栗山富夫,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:黒木瞳,酒井法子,12 代目市川團十郎/ロケ地:山形県庄内地方/魚:ヤマメ・タイ

第 13 作『釣りバカ日誌イレブン』スチール写真・台本/平成 12[2000]年/監督:本木克英,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:桜井幸子,余貴美子,村田雄浩/ロケ地:沖縄県本島・久米島/魚:キハダマグロ

第 14 作『釣りバカ日誌12 史上最大の有給休暇』スチール写真・台本/平成 13[2001]年/監督:本木克英,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:宮沢りえ,青島幸男,吉岡秀隆/ロケ地:山口県宇部市,萩市/魚:メジナ・イサキ・マダイ

第 15 作『釣りバカ日誌13 ハマちゃん危機一髪!』スチール写真・台本/平成 14[2002]年/監督:本木克英,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:鈴木京香,小澤征悦,丹波哲郎/ロケ地:富山県/魚:タイ・サクラマス

第 16 作『釣りバカ日誌14 お遍路大パニック!』スチール写真・台本/平成 15[2003]年/監督:朝原雄三,脚本:山田洋次・朝間義隆/ゲスト出演:高島礼子,三宅裕司/ロケ地:高知県/魚:イシダイ・カサゴ・アカンバエ

第 17 作『釣りバカ日誌15 ハマちゃんに明日はない!』プログラム・台本/平成 16[2004]年/監督:朝原雄三,脚本:山田洋次・朝原雄三/ゲスト出演:江角マキコ,笈利夫,吉行和子/ロケ地:秋田県/魚:タイ

第 18 作『釣りバカ日誌16 浜崎は今日もダメだった♪』プログラム・台本/平成 17[2005]年/監督:朝原雄三,脚本:山田洋次・石川勝己・平松恵美子/ゲスト出演:伊東美咲,金子昇,ボビー・オロゴン/ロケ地:長崎県/魚(イカ):ミズイカ

第 19 作『釣りバカ日誌17 あとは能登なれハマとなれ!』プログラム・台本/平成 18[2006]年/監督:朝原雄三,脚本:山田洋次・朝原雄三/ゲスト出演:石田ゆり子,大泉洋,片岡鶴太郎/ロケ地:石川県/魚:アジ・タイ

第 20 作『釣りバカ日誌18 ハマちゃんスーさん瀬戸の約束』プレス・台本/平成 19[2007]年/監督:朝原雄三/脚本:山田洋次・朝原雄三/ゲスト出演:榎れい,高嶋政伸,星由里子/ロケ地:岡山県/魚:タイ・メバル

第 21 作『釣りバカ日誌19 よこそ鈴木建設御一行様』プログラム・台本/平成 20[2008]年/監督:朝原雄三/脚本:山田洋次・関根俊夫/ゲスト出演:常盤貴子,山本太郎,竹内力/ロケ地:大分県/魚:イサキ

第 22 作『釣りバカ日誌20 ファイナル』プログラム・台本/平成 21[2009]年/監督:朝原雄三,脚本:山田洋次・朝原雄三/ゲスト出演:松坂慶子,吹石一恵,塚本高史/ロケ地:北海道/魚:イトウ

参考資料:『釣りバカ日誌20 ファイナル』プログラム



『釣りバカ日誌』全22作の台本を並べてみました。ちょうど第12作目の『花のお江戸の釣りバカ日誌』を境に、作品タイトルのデザインがかわっていきますね。ご覧になった作品はありますか? ご興味おありの方は、是非当館に『釣りバカ日誌』シリーズの台本を読みにご来館くださいませ。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2018（平成30）年12月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（50音順・敬称略）

川井まゆか
細矢タエ

どうもありがとうございます

■ 編集後記 ■

▼新年明けましておめでとうございませう。平成31年は、11日金曜日より開館いたします。スタッフ一同、皆様のご来館をお待ちしております。本年も松竹大谷図書館をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

▼本年の干支は「己亥」。この機会に、イノシシに関連する組上燈籠絵をご紹介します！

左の組上燈籠絵は、『頼朝富士之牧狩仁田四郎功名之圖組上ケ五枚續』（明治30〔1897年〕の内の1枚です。曾我十郎祐成・五郎時致兄弟が父親の仇の工藤祐経を討つまでを描いた『曾我物語』のうち「巻第八」の富士の裾野の牧狩りの場面の組上燈籠絵です。源頼朝が催した牧狩りの最中に飛び出してきた猪を、剛勇で知られた仁田四郎忠常が見事仕留めた日の夜、工藤祐経を討つため陣屋へ押し入った曾我十郎を討ち果たした人物です。大きな猪の絵が見えますが、パーツを切り出して組み立てることを目的としているため、首と足2本がそれぞれ胴体とは別々に描かれているのが、面白みがありますね。猪の上に描かれているのが仁田四郎で、中央に描かれている馬に乗った人物が源頼朝です。こちらの組上燈籠絵は、当館ホームページの「松竹大谷図書館所蔵「組上燈籠絵」検索閲覧システム」で検索できま

す！「頼朝」「牧狩」「仁田四郎」などのキーワードで検索してみてください。



● 利用案内 ●
開館時間
平日午前10時～午後5時
休館日
土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期 夏期 特別整理期間
※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。

● 交通案内 ●
東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

● 入館料 無料 ●
● 閲覧 館内閲覧のみ ●



編集後記の組上燈籠絵『頼朝富士之牧狩仁田四郎功名之圖
組上ケ五枚續』の完成形（部分）です。退治せんと猪に飛び乗る勇猛な仁田四郎、猪に跳ね飛ばされて宙を舞う従者。猪の下にもつぶされた従者がいますね。背景には物語の舞台となった富士の裾野が広がっています。

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階／TEL 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>